

その他の災害編

雪害編

大雪や暴風雪に備えて、十分な安全対策を行い、むやみに外出しないようにしましょう。

事故防止のために気をつけること

- ① 暴風雪が予想されるときは、不要不急の外出は避け、やむを得ず外出するときには、複数人で行動する。
- ② 送電線への着雪などで停電の可能性が高くなるので、十分な防寒具やポータブルストーブなどを準備する。
- ③ 雪下ろしの際には、転落やけがのないよう、十分注意しながら複数人で作業する。
- ④ 落雪や積雪により、玄関や窓などの避難口や暖房機の吸排気口がふさがれることがあるので、こまめに除雪して避難路を確保する。
- ⑤ 車を運転しているときは、無理せず、安全な場所に駐車し、天候の回復を待つ。
窓を少し開け換気に注意して、マフラーが雪でふさがれないよう、こまめに除雪する。
車にも万一の備えとして、防寒着、長靴、手袋、スコップ、けん引ロープや食料、飲料水を用意して、燃料や充電の残量を確認し、こまめに給油や充電する。



火災編

火災発見

- ①「火事だー！」と大声で叫ぶ

119番通報

冷静に落ち着いて火災の状況を伝えましょう

- ①「火事です。」
- ②「〇〇町〇〇丁目〇〇番地の〇〇です。」
- ③「〇〇が燃えています。」(詳しく)
- ④「目標物は〇〇の〇〇のそばです。」
※場所がわからない時は付近の人に聞く。



初期消火

出火要因に応じた初期消火の仕方を理解する

- ① 水や消火器がなければ、身近なもの(座布団や毛布など)を活用して一刻も早く消火する。
- ② 油に水を絶対に入れない。
- ③ 消火器は下から、水バケツは上からかけて消火する。
- ④ 電化製品からの出火は、プラグを抜くかブレーカーを切ってから消火する。
- ⑤ 油鍋に火が入ったり、ストーブから出火したら、3～5m離れて消火器で消火する。
- ⑥ 住宅内のカーテン、ふすま、障子などに火がついたら、上の方を目掛けて水をまく。

避難

火や煙は想像以上の速さで広がるので、無理はせずに早く避難する

- ① 天井に火が燃え移ったら消火をあきらめ、速やかに避難する。
- ② 避難するときは、部屋の窓やドアを閉める。
- ③ 高齢者・障がい者・傷病者・乳幼児などを優先的に避難させる。
- ④ 服装や持ち物にこだわらず、できるだけ早く避難する。
- ⑤ 煙の中を逃げるときは、できるだけ姿勢を低くして、煙を吸わないようにハンカチなどで鼻・口をおおう。
- ⑥ いったん逃げ出したら再び火の中に戻らない。
- ⑦ 逃げ遅れた人がいるときは、近くの消防隊に知らせる。

